

4 災害発生時の避難行動

避難に当たっては、自分で判断し、自分の身は自分で守る「自助」、そして隣近所で声をかけ合い、助け合う「共助」を基本とし、余裕を持って早めの対応に心がけてください。

1. 車を使わず、歩いて避難

- ①車での避難は、渋滞や建物の倒壊等により通行できないおそれがありますので、避難行動要支援者の避難に利用する以外は徒歩で避難しましょう。
- ②あらかじめ決めておいた避難コースを歩きましょう。
- ③予定していた避難場所へ行くことが困難なときは、近くの公園等に緊急（一時的）に避難し、安全を確認してから避難場所へ向かいましょう。

2. 危険な場所の回避

- ①塀ぎわ、狭い道、がけや川のそばは避けましょう。
- ②垂れ下がった電線には触れないようにしましょう。
- ③落下物やガラス片、ブロック塀、自動販売機などに気をつけましょう。

3. 隣近所での声かけや要配慮者への配慮

- ①避難をする前に隣近所に声をかけ、単独での避難行動はできるだけ避けましょう。
- ②病人や歩行困難な人は協力して避難しましょう。

4. 大雨・冠水時の避難

- ①水深が深いところはもちろん、浅い場所でも流れが早いところは危険です。無理せず迂回して避難しましょう。
- ②冠水した時は、側溝、マンホールなどが見えず危険です。長い棒で安全を確認しながら歩きましょう。

5. 通勤先・通学先の場合

- ①勤務先・学校等の指示に従ってください。
- ②交通機関が使用できない場合は、勤務先・学校等、または近隣の避難所等に避難するようにし、無理に帰ろうとはしないでください。
- ③日頃から、交通機関が使用できない場合の帰宅ルートや、家族との連絡方法や避難（合流）場所を確認しておいてください。